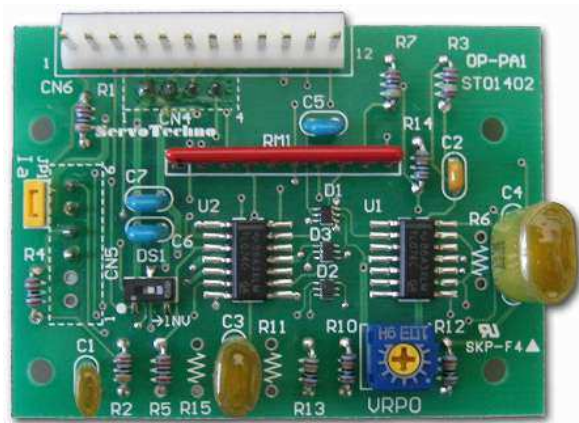


オプション PA1

取扱説明書



サーボテクノ株式会社

〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原 6-2-18

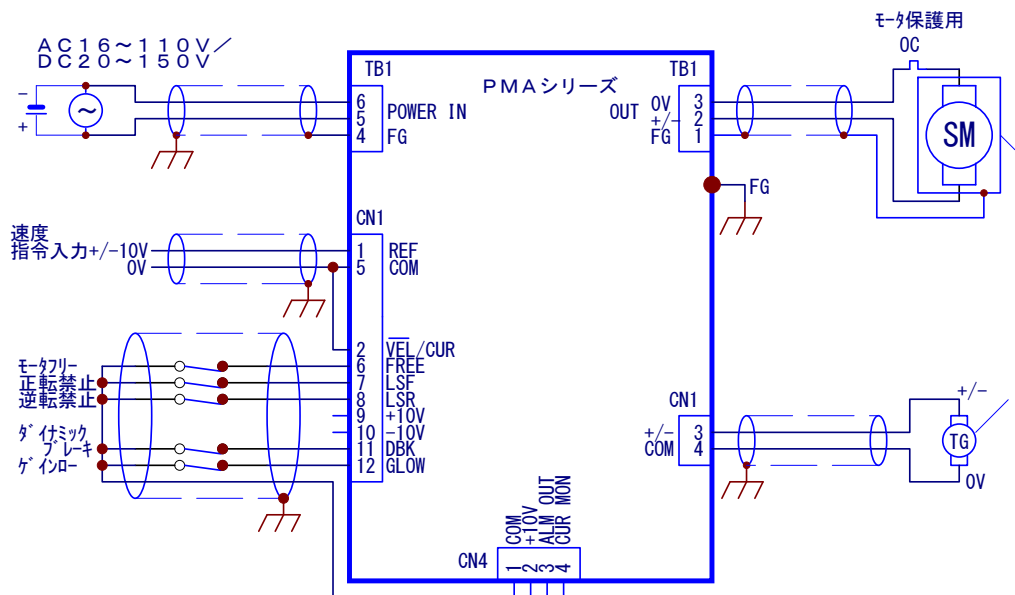
TEL : 042-769-7873

FAX : 042-769-7874

目 次

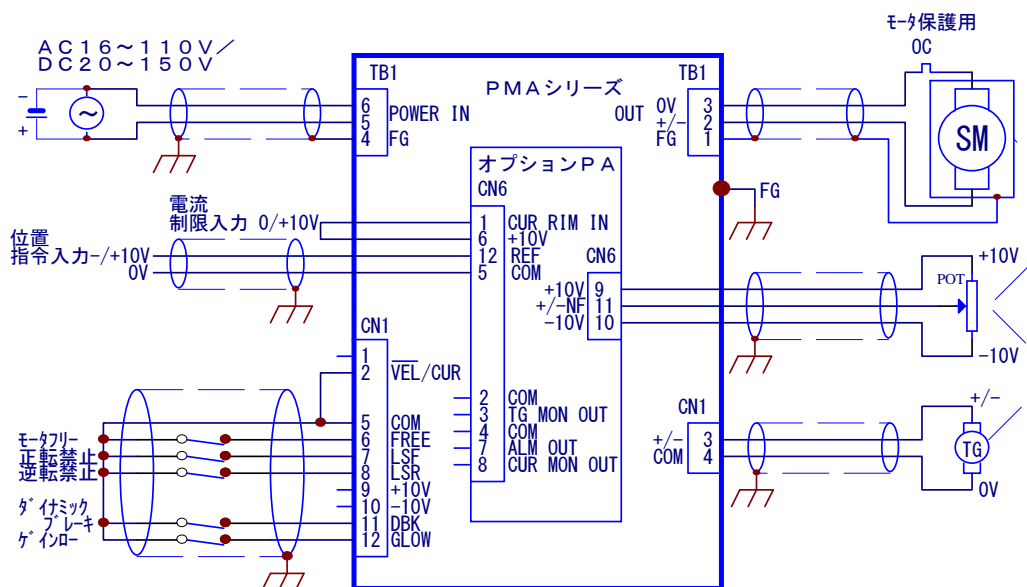
| | |
|-----------------------|---|
| 1. 速度制御接続図例 | 2 |
| 2. 位置制御接続図例 | 3 |
| 3. コネクタ接続表及び品種表 | 4 |
| 4. 回路図 | 5 |

1. 速度制御接続図例



1. CN1-2はLOWにして下さい。(速度制御)
2. タコゼネが無くエンコーダがある時は、オプションVFにて対応できます。
また、エンコーダも無い時は、速度制御精度は悪いですが、オプションV(電圧制御)にて対応できます。
3. FREE、LSF、LSR、DBK、GLOWの各信号は、未使用の時はCOMと接続して下さい。
4. LSF、LSRは、リミット停止時のみ使用して下さい。
一方向回転制御だけで使用する場合は、指令電圧を0～+10Vもしくは、0～-10Vのどちらかを
を入力して使用して下さい。
5. 信号線は、ツイストケーブル及びシールドケーブルを使って下さい。
6. モータ線は、ノイズ軽減のため、必ず2芯シールドケーブル又は3芯シールドケーブルを使用し、
シールドはモータケース側とドライバのFG側(TB1-1)を接続して下さい。
この配線により、PWMスイッチングノイズがドライバへ帰還され、外部に洩れるノイズが少なくなります。
7. OC(サーマルリレー)は、モータ定格電流値のものを使用して下さい。
OCの出力接点は、ドライバのDBK又はFREEに入力するか、主電源を遮断して下さい。
8. 回生ユニットは、通常の使い方では必要ありませんが、負荷イナーシャが大きい時や、モータをブレーキとして使用する場合等には、連続回生となりドライバ内部のDC電圧が上昇し保護回路が働き、正常動作ができなくなりますので、このような時に必要になります。
9. バッテリーを使用する場合は、極性を合わせジャンパー線JP、JNをつけて下さい。
連続回生で使用できます。
10. 電流制限入力は、必ず0～+10Vの指令値を入力して下さい。

2. 位置制御接続図例



1. アナログ位置制御には、オプションP A 1が必要です。(本体に組込み)
2. タコゼネが無い時は、オプションV(電圧制御)にて代用が可能です。
3. F R E E、L S F、L S R、D B K、G L O Wの各信号は、未使用の時C O Mと接続して下さい。
4. L S F、L S Rは、リミット停止時のみ使用して下さい。
5. 信号線は、ツイストケーブル及びシールドケーブルを使って下さい。
6. モータ線は、ノイズ軽減のため必ず2芯シールドケーブル又は3芯シールドケーブルを使用し、シールドはモータケース側とドライバのF G側(T B 1-1)を接続して下さい。
この配線により、P W Mスイッチングノイズがドライバへ帰還され、外部に洩れるノイズが少なくなります。
7. O C(サーマルリレー)は、モータ定格電流値のものを使用して下さい。
O Cの出力接点はドライバのD B K又はF R E Eに入力するか、主電源を遮断して下さい。
8. 回生ユニットは、通常の使い方では必要ありませんが、負荷イナーシャが大きい時やモータをブレーキとして使用する場合には、連続回生となりドライバ内部のD C電圧が上昇し保護回路が働き、正常動作ができなくなりますので、このような時に必要になります。
9. バッテリーを使用する場合は、極性を合わせジャンパー線J P、J Nを付けて下さい。
連続回生で使用できます。
10. 電流制限入力は、必ず0 ~ + 1 0 Vの指令値を入力して下さい。

3. コネクタ接続表及び品種表

CN6コネクタ接続表

| PIN# | 信号名 | 信号説明 |
|------|---------|---------------------------------------------------------------|
| 1 | CUR RIM | 電流制限値を外部指令0～+10V入力することで変更できます。 使用しない時は、+10V（9番ピン）に接続して下さい。 |
| 2 | COM | 0V |
| 3 | TG OUT | タコゼネ電圧を1/4にして出力します。21V→5.2V |
| 4 | COM | 0V |
| 5 | | |
| 6 | +10V | フォトカプラ等駆動電源に使用可。10mAmax |
| 7 | ALM | アラーム出力(異常時LOW)、高温異常、過電流検出 |
| 8 | CUR MON | 出力電流モニタ 0～±4V/各ドライバmax電流 |
| 9 | +10V | 設定器用電源 24mAmax使用可 |
| 10 | -10V | |
| 11 | P NF | 位置フィードバック入力 ±10V |
| 12 | P REF | 位置指令入力 ±10V |

コネクタ品種表

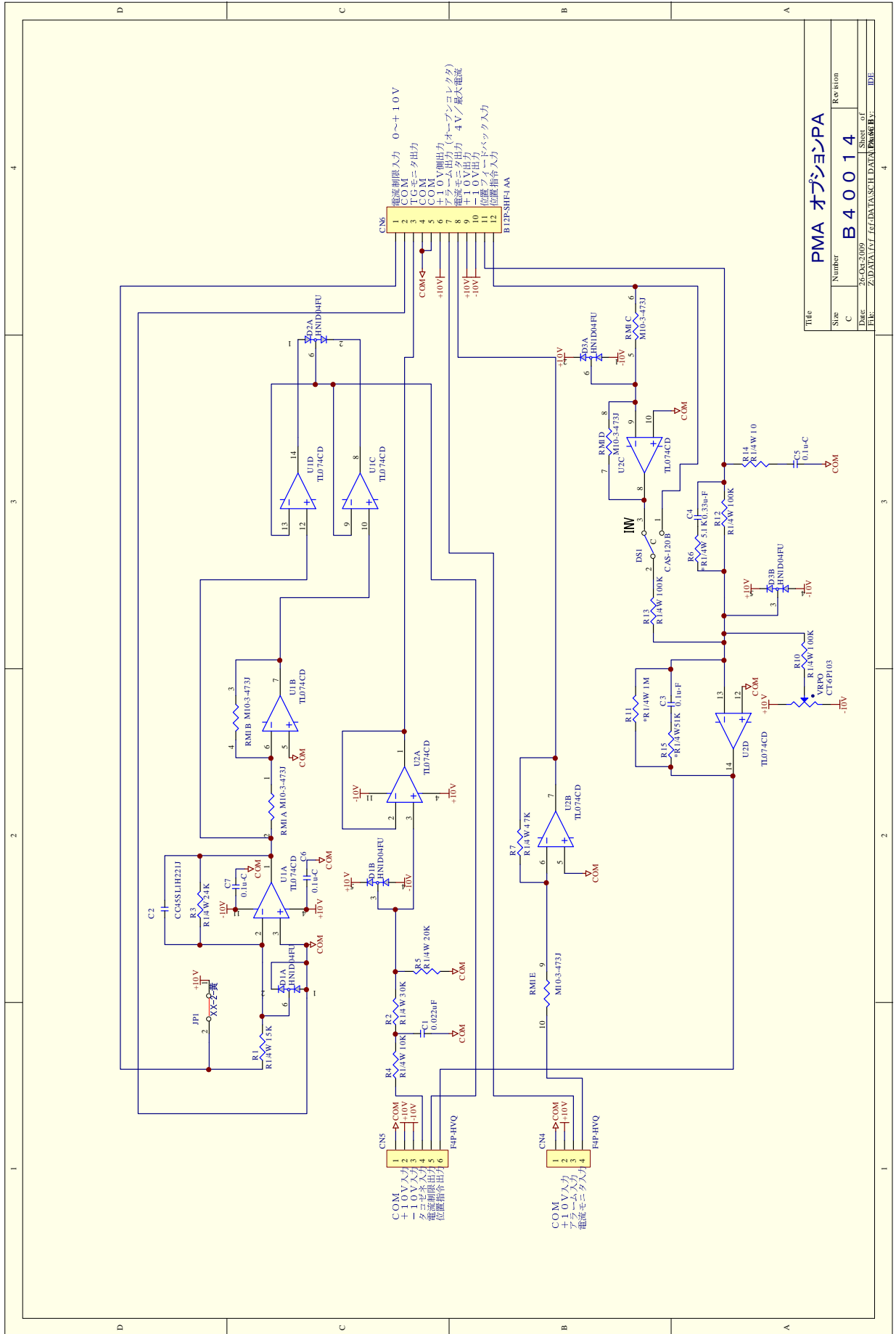
| コネクタNO | プラグ型番 | ヘッダー型番 | ピン型番 | メーカー | 備考 |
|--------|-------------|--------------|----------------|--------|-----|
| CN6 | H12P-SHF-AA | B12P-SHF-1AA | BHF-001T00.8BS | 日本圧着端子 | 付属品 |

調整ボリューム

| ボリューム名 | 機能説明 |
|--------|--------------------------|
| VRMO | 電流モニタ出力のオフセット調整 |
| VRPO | 位置のオフセット調整（位置制御回路使用時に有効） |

*標準仕様にあるコネクタCN4の信号出力は、オプションPA1を付属した場合には、CN6（5～8番）より出力されます。

4. 回路図



メモ

ServoTechno

サーボテクノ株式会社